



超我の奉仕

本 庄

ロータリークラブ会報

NO 43-17 第2076回 例会 11月10日 2005年11月17日 発行
2005～2006年度国際ロータリー会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー 第2570地区ガバナー 野中弘之
会長/野村正行 会長エレクト/渋谷修身 副会長/武井包光 副会長/中村 孝 幹事/温井一英

本日の例会

ロータリー財団月間
卓 話
国際ロータリー第2570地区
ロータリー財団部門委員長
梅 澤 将 明 様

施設訪問「トマト村」

進 行 SAA 福島文江 委員
点 鐘 午後12時30分 野村正行 会長
ソング 「君が代」「奉仕の理想」
お客様 国際ロータリー第2570地区
ロータリー財団部門委員長
梅澤将明 様

会長の時間 野村正行 会長



皆さん今日は。
まず始めにお客様をご紹介します。
国際ロータリー第2570地区ロータリー財団部門
委員長の梅澤将明様です。卓話をお願いしていま
す。

この11月は、ロータリー財団月間であります。
そしてロータリー財団委員会では、事業の一つと
して、財団を理解するために今日卓話を計画し、

行います。

又、ガバナー月信 NO5で「ロータリー財団月
間によせて」として、詳しい記載が載っています
ので、お目通しください。

今日11時より、11月定例理事会を開き、承認
された議題について報告します。

- ・ カトリーナ・ハリケーン・パキスタン大地震
の地区義援金基金の補充について、1ロータ
リアン1,000円を寄付してもらい補充するこ
とにつき、会員に協力を求め承認してもら
う件。
- ・ 本庄市青少年育成市民会議より、平成17年度
本庄市青少年育成会議、青少年、青少年育成
者等功労表彰候補者の推薦依頼について、個
人、団体等を推薦した件。
- ・ 野中ガバナーより、多地区合同奉仕活動の承
認手續のお願いの件として、米山奨学事業が
国際ロータリーの正式活動の一環として、昨
年11月にRI理事会で決定された。その手続
きがされていないため3分の2のクラブ承認
が必要のため、早急にクラブで協議し承認の
是非を回答する件。(例会場にて会員に賛成を
得る)
- ・ 山中会会長より、「山中杯、中学校野球大会」
の開催の案内について、開会式出席、賛助金
の協力支援依頼があり、賛助金5万円を支出
することとする件。
- ・ 11月のプログラム予定表について。

報告事項として

- ・ 本庄警察署長の移動に対し、恒例として当ク
ラブより、感謝状と記念品を贈呈します。
- ・ 10月22日に熊谷市ホテルルートイン熊谷で
国際奉仕部門セミナーが開催されました。出
席者の飯塚明男国際奉仕委員長及び巴会員に
は出席ご苦労様でした。
- ・ 11月6日(日)川越福祉センターで、カウンセ
ラー及びクラブ米山委員長研修会が開催され
ました。
- ・ ロータリーの友11月号(35頁)「地区のたより
第2570地区(埼玉西北)」欄に本庄ロータリー
クラブ「素人手品施設訪問」の記事が掲載さ

れました。

- ・ 10 月 27 日(木)の紅葉の昇仙峡とぶどう狩りを兼ねた石和温泉ホテル花京での移動例会に出席くださりまして有難うございました。

通達事項として

- ・ 本庄ロータリークラブ役員選挙に関する申し合わせ事項の第 2 条第 1 号で 11 月の第一例会で次年度の役員・理事の選挙に関し、本庄ロータリークラブ定款細則の定めるなかで、指名委員会による旨通達します。尚、幹事より指名委員会の開催日を書面で当該会員に通達します。

幹事報告 温井一英 幹事



- ・ ガバナーエレクト事務所開設のお知らせが届いております。場所は和光市です。
- ・ 比国青少年育英会バギオ基金から 2004 年度事業報告書の送付と基金への寄付のお願いが届いております。
- ・ 地区のロータリー情報委員会より「4 分間ロータリー情報活用資料」が届いております。
- ・ インターネット速報が届いております。
- ・ 財務省関東財務局より財務カントー秋号が届いております。
- ・ 本庄・児玉の合併に伴い「本庄・児玉カウントイベント」の案内があり、協賛金として当クラブより 2 万円の寄付をすることになりました。1 月 9 日 19 時より本庄市今井台南公園にてカウントダウンイベントが行われます。

飯塚章治 親睦活動副委員長



11 月誕生日祝 (敬省略)

武井包光 小此木利明 萩原達夫 戸谷 丈
黒岩三雄 小此木昭二



挨拶 武井包光 会員



11 月 4 日で満 69 歳になりました。歳をとると誕生日のお祝いは頂きたくないのですが、3 年に 1 度が誕生日と考えて・・・と思います。

本日お見え頂いております梅澤さんには、高橋ガバナー年度に貴クラブに訪問し、お世話になり有難うございました。

11 月結婚祝 (敬省略)

岩渕富男 藤井 仁 岡崎正六 黒岩三雄
山田龍男 今泉憲治



挨拶 藤井 仁 会員



私も結婚して 33 年になりました。最近はお房が強くなりまして、いよいよ座布団組合に入りました。皆様のお力をお借りして、これからも夫婦仲良くして参りたいとおもいます。

委員会報告

飯塚章治 親睦活動副委員長

クリスマスパーティの事業計画が理事会の承認を得ましたので、本日 FAX にて皆様にご案内いたします。12 月 22 日(木)埼玉グランドホテル本庄で開催いたしますので、奮ってご参加ください。

後藤芳生 地域社会奉仕委員長



11 月 27 日(日)に楽市がございますが、3 分の 1 の会員の方に品物のご協力を頂いております。品物の提供を頂けない方は理事会決定で、一人 3 千円のご協力をお願いすることとなっておりますので、よろしくお願いいたします。

本日午後 2 時より「素人手品施設訪問」でトマト村に伺いますので、皆様のご参加を宜しく願います。

飯塚明男 国際奉仕委員長



10 月 22 日国際奉仕部門セミナーが開催され、私と巴会員で出席して参りました。

日本ユネスコ協会、埼玉ユネスコ協会についての説明がありました。

埼玉ユネスコ協会の本田さんより、お金の流れについて、又、現地ネパールの活動報告等説明がなされ、活発な意見、質問等がなされておりました。

田中 克 ロータリー家族委員長



10 月 27 日家族親睦旅行に際しましては 43 名の参加を頂き、1 日楽しくバス旅行が出来、無事終了する事が出来ました。ご参加の皆様に厚くお礼申しあげます。

なるべく入会 2 ～ 3 年未満の会員の参加をお願いして参りましたが、今回参加出来なかった会員は次の催しの時は是非参加をお願いいたします。

横尾セツ 雑誌記録委員長



ロータリーの友 11 月号をお開きください。
まず、横組 1 ページに 11 月はロータリー財団月

間と言うことで、国際ロータリーとロータリー財団の協力関係の大切さを RI 会長がメッセージされています。

12～15 ページに最前線でポリオと闘っている 3 人のロータリアンに聞くと言うのが掲載されています。

35 ページには地区たよりとして本庄ロータリークラブの「素人手品施設訪問」が掲載されています。

縦組に国際ロータリー 2650 地区で「子供の痛みが聞こえますか」と言うテーマでの講演の内容が記載されています。

9 月号にも「お願い聞いて心の叫びを」「見えますか子供達の心の風景が」と言うのが掲載されておりましたが、日本は経済的に豊かさばかりを求め、走り続けたばかりに、の現状が語られています。情操教育が無くなったと言うことを憂いているのだと思います。

ニコボックス 渋澤健司委員長 (敬省略)



本庄ロータリーへようこそいらっしゃいました。
ロータリー財団部門委員長・梅澤将明様卓話よろしく願いいたします。
(同文にてご投入頂きました)

井河久昇	福島文江	八木茂幸	加藤玄静
温井一英	三宅健吉	佐藤賀則	竹並栄一郎
岩堀 薫	矢島淳一	岡芹正美	野澤章夫
下山正男	岩本英人	岩渕富男	野村正行
渋谷修身	武井包光	町田国彦	金井澄雄
茂木 聡	沼田恵義	春山茂之	石原輝弥
茂木 正	西村賢次		

11 月 9 日第 13 回ゴルフレンジイーグルのゴルフコンペで小此木利明会員がホールインワンを達成しました。おめでとうございます。
(同文にてご投入頂きました)

松原幹男	渋澤健司	金子 弘	加藤玄静
金井直樹	中島高夫	金井澄雄	萩原達夫
藤井 仁	江原栄一	橋本恒男	内野昭八郎
関口雅之	古瀬末雄	立石秀寿	小此木昭二
横尾セツ	高柳育行		

小此木利明

昨日イーグルのゴルフ大会で初めてホールインワンができました。しかしセルフプレーでしたので。

田中 克

10 月 27 日の家族親睦旅行に多数ご参加ありがとうございました。無事終了いたしました。

戸谷 丈

11 月 7 日本庄学生書道展で本庄ロータリー賞を授与して審査講評をして来ました。

笠原 勝

11/7 号かわら版「こだま」を 30 部持って参りました。読んで頂ければ幸いです。

塚越 茂

パキスタンに毛布を送りましょう。

石原 修

クリスマスパーティの出欠を FAX にて今日伝送しますので、ご婦人同伴でお願いします。

山田龍男

スナック(ミハル)の一周年記念に多数の方にご出席頂きまして本当に有難うございました。今後ともよろしくお願いいたします。

岡崎正六

結婚祝いのお花有難うございました。

本日ニコニコ合計 59、000 円

ゴルフ部 巴 高志 会員



11 月 16 日(水)第 4 グループ IM チャリティコンペが開催されます。

加藤ガバナー補佐、野村会長以下 12 名で参加いたします。

11 月 24 日(木)第 2 回当クラブのゴルフコンペが開催されます。締め切りは過ぎましたが、手違いにて葉書が届いてない方がいらっしゃいましたら、まだ、受け付けておりますので、お申し出ください。



欠席届出者

五十嵐敦子 今泉憲治 梅村孝雄 岡崎正六
杉山淑子 関根 貢 坂本雄一 杉山淑子

会 員 数	出 席 免 除 会 員 数	出 席 義 務 会 員 数	出 席 会 員 数	出 席 率
77 名	7 名	70 名	56 名	85,7%

メーカーキャップ数4枚

矢島淳一 プログラム委員長



当月はロータリー財団月間ということでロータリー財団委員会委員長の岩渕会員にご相談しました所、地区より梅澤財団部門委員長さんをご講師にお招きして本日卓話をして頂く事になりました。

今月はロータリー財団月間ということで、当クラブは新入会員の方が増えましたので、財団の理解をして頂きたく、本日は坂戸さつきロータリークラブより梅澤将明様をお招きし、卓話を頂く事になりました。昨年も卓話を頂きましたが、財団に対する理解を深める時間が少ない等で今年もお願い致しました。

梅澤将明様プロフィール

1950年11月27日生まれ(射手座)
坂戸防災㈱代表取締役
坂戸さつき RC1991～92年度創立会員
坂戸さつき RC1995～96年度幹事
坂戸さつき RC2000～01年度会長
第2570地区 2001～02年度 R財団推進
ポリオ委員
第2570地区 2002～03年度 R財団推進
補助金委員
第2570地区 2003～05年度 R財団委員
補助金委員長
第2570地区 2005～06年度 R財団部門委員長

卓 話

国際ロータリー第2570地区
ロータリー財団部門委員長
梅澤将明 様



まず、ロータリーのクレジットカードについて
お願いですが、9月末日で35名の登録を頂いておりますが、あらためてPRさせていただきます。

ゴールドとスタンダードの2種類あり、ゴールドは年会費10500円で、その内3000円がR財団の寄付に入ります。スタンダードは年会費0円です。日本の会員2割を目標にしてスタートしており、1万人の登録がないと財団への寄付が0.3パーセント出来ません。是非ご協力くださいますようお願いいたします。

R財団寄付の仕組みは年次寄付、恒久寄付、使途指定寄付の3つになっております。年次寄付は元金で財団のプログラムに支払われる。寄付金は、寄付の3年後に使用される。昔は一般寄付(全て現金で財団に出す)、無条件寄付(R財団のどのプログラムにも使えた)と言われていました。

一つ目は年次寄付と言って寄付金は3年間お預かりして投資をし、得たお金を財団の運営費に廻します。元金を取り崩したりはしません。3年後に地区活動資金として50%、国際活動資金として50%の2つにわかれます。地区活動費として各地区の選定したプログラムに使用されます。主な用途は国際親善奨学金や地区補助金に使用されます。また、世界平和フェローにも援助します。

国際活動資金は地区の寄付レベルに関係なく、すべての地区、クラブが申請出来るプログラムに出資されます。これをシェア・システムと言います。

二つ目は恒久寄付です。元金を投資してその運用益だけを財団のプログラムの支援に使用される。恒久基金はR財団が投資をしてその運用益によって、世界的レベルの人道的、教育的、プログラムなどの補助金として活用しています。

3つ目は使途指定寄付です。特定のプログラムに対して用途を指定し寄付をする。いつでもそのプログラムに対して使用される。これは、寄付者の意思が100%反映される寄付です。昨年迄は3年間ポリオ寄付でしたので、全部ポリオに行きました。その他、マッチング・グラント、冠名奨学金があります。

寄付の種類

1. 年次寄付

現金寄付(ポール・ハリス・フェロー、財団の友、マルチプルフェロー、会員協力金)

2. 恒久寄付

現金の寄付(ベネファクター、パーマネント・ファンド)

遺贈(1000ドル以上の遺産で受取人にロータリー財団を指名)

遺贈友の会(1万ドルの以上で受取人にロータリー財団を指名)

冠名基金(2万5千ドル以上で、使途を指定しない)

冠名奨学金基金(15万ドル以上で、その投資収益により奨学生を派遣)

慈善年金(50歳以上、1万ドル以上で、生涯一定利率の利子を受け取る) 日本では8名いる。

クラブの会員が全員でポール・ハリス・フェロー

を達成しますと、100%ポールハリスクラブとしてロータリー財団で認証されます。坂戸さつきクラブは2002~03年度で達成しました。地区で第1号、全国で36番目でした。

3. 使途指定寄付

ポリオ・プラス基金

冠名奨学金(2万6千ドルで、個人名で1学年の奨学生を派遣)

マッチング・グラント(国際パートナーが必要、15万ドル限度)

ロータリー財団委員会の任期は3年です。

ロータリー財団の寄付は、世界の困った人達がロータリーに手を差し伸べて欲しいと言う時にロータリアン一人一人がどのように答えるかと言う問題なので、善意の寄付と言うのです。

今、国際ロータリーの純資産は約120~130億円です。ロータリー財団の純資産は600億円位です。国際ロータリーの中に在ってロータリー財団が無ければ世界の奉仕活動が出来ますでしょうか？ロータリー財団なくしてロータリーを語ることは出来ないと言われているのがその所以です。しかし、ロータリー財団を支えているには会員一人一人の皆様方です。今後ともロータリー財団に対しまして、より一層のご支援ご協力を賜りますことを改めてお願い申し上げます。



素人手品施設訪問

トマト村

11月10日地域社会奉仕委員会は後藤委員長のもと第2回素人手品施設訪問をトマト村で実施いたしました。

野村会長が冒頭で、本庄ロータリークラブでは皆様に楽しい一時を過ごして頂くため、素人手品師と一緒にトマト村を訪問させて頂きました。と挨拶をされ入園者から歓迎を受けました。



広聴広報委員会 中島高夫・杉山淑子・岩本英人・笠原 勝・西村賢次

■例会日 毎週木曜日 12:30～13:30
 ■事務所 埼玉グランドホテル本庄 700 号
 〒367-0041 本庄市駅南 2-2-1
 TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄
 Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp
 ホームページ
<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>